

2016年11月(第1版)

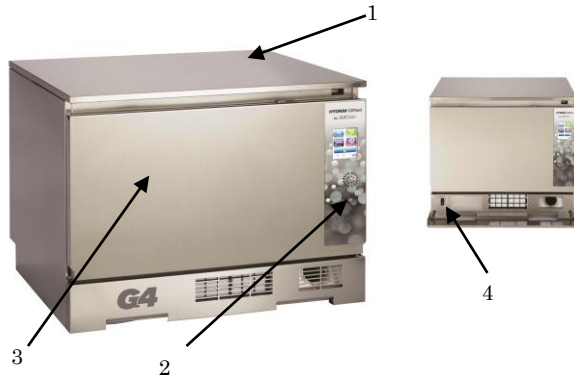
※2017年5月(第2版)

機械器具 55 医療用洗浄器
一般医療機器 器具除染用洗浄器 JMDN コード:35424000

ハイドリム C61 WD G4 JP

【形状・構造及び原理等】

1.形状・構造



番号	名称	番号	名称
1	洗浄器本体	2	タッチスクリーン
3	開閉部扉	4	電源スイッチ

2. 寸法及び重量

外寸:W598mm×D526mm×H520mm

重量: 44kg

3.電氣的定格

電源電圧: 単相 AC200V

電源周波数: 50Hz/60Hz

※電流: 12A

4. 作動原理

循環ポンプにより水または温水が供給される。ジェット方式の噴射による洗浄・すすぎで除染・消毒が行われ、フィルター処理された熱風で乾燥させる。

【使用目的又は効果】

再使用可能な手術器具、麻酔器具、及び他の手術用具の（化学的又は加熱）除染、消毒のために用いる洗浄器をいう。乾燥機能を内蔵したものもある。

【使用方法等】

操作方法又は使用方法

詳細は取扱説明書を参照のこと。

【設置・接続方法】

機器の設置準備

設置は有資格者のみ行う。

- ① 洗浄器の上部、背後及び左右に10mm以上のスペースを確保できる場所に設置する。
- ② ブレーカー付き単独回線のコンセントに直接接続する。
- ③ 給水ホースは温水用、冷水用の2本を接続できるところに設置する。温水給水が確保できない場合は冷水給水をY字継手などで分岐し、必ず温水用、冷却用両方のホースをつなぐ。
*他の電気機器をつないでいないコンセントを使用する。
*冷水のみを給水する場合、洗浄サイクル時間が長くなる。

水質の確認及び設置

- ① 硬水度検査キットを使って水質を調べる。
- ② 水の硬度によって洗浄器の設定を行う。

水質調整のための準備

- ① チャンバー底の左側にある水軟化剤ユニットのふたを開き、水軟化剤を付属のじょうごを使ってセットする。水軟化剤ユニット内が水軟化剤で十分満たされるまで入れる。
- ② 洗浄器の使用開始時のみ水0.5リットルを水軟化剤ユニット内に注ぐ。
- ③ ふたをしっかりと締めてチャンバー内に水軟化剤があふれることがないようにすること。
- ④ 水軟化剤補充のサインが表示された際は①と③を行う。
*作業は電源を切った状態で行うこと。
*補充の際チャンバー内に水軟化剤がこぼれないように十分注意すること。
*初回以降、水軟化剤を補充する際は水の追加は不要である。

洗浄液の設置

- ① 必ず専用の洗浄液を使用する。洗浄液のキャップを取り外し、ノズル部分を洗浄液キャリアーの所定の位置にしっかりとめる。
- ② 安定した状態で洗浄液が設置されていることを確認し洗浄液キャリアーのチューブを洗浄液のノズルに取り付ける。
*必要に応じて適切な保護用具を用い洗浄器が肌に付かないように注意する。
*作業は電源を切った状態で行うこと。

【使用方法】

- ① 電源を入れる。
- ② タッチスクリーンの操作により扉を開き被洗浄物を専用バケツに入れて、チャンバー内に収納する。
- ③ 洗浄サイクルを選択し、洗浄、すすぎ、乾燥を行う。
- ④ 動作終了後、タッチスクリーンの操作により扉を開き、被洗浄物を取り出す。

取扱説明書を必ずご参照ください

⑤ 洗浄の仕上がりを目視で確認する。

*電源は基本常に入れた状態にしておく。

*被洗浄物にレジンなどが付着している場合は、洗浄前に取り除くこと。

*取り出す際は、内部が高温になっている場合があるので注意すること。

【使用上の注意】

重要な基本的な注意

- ①本品は記載の使用目的のみに使用すること。
- ②設置及び業者による点検は有資格の請負業者のみが行うこと。
- ③設置場所の電源やスペースなどが、設置の条件を満たしているか確認すること。
- ④直射日光の当たる場所や熱電の近くには設置しないこと。
- ⑤取扱説明書の注意事項をよく読んで厳守すること。
- ⑥専用の洗浄液は弱アルカリ性であり、取扱いには注意すること。
- ⑦乾燥中の通気は機械の前側より行われ、周囲の湿気が上昇するので空気の循環を確保すること。
- ⑧医療器具の洗浄と手入れ方法については製造元の指示に従うこと。
- ⑨本品を用いて歯科用バー等の切削器具は洗浄しないこと。
- ⑩開いた状態の扉を押したり引いたり、移動させたりすると水漏れ原因となるので行わないこと。

【保管方法及び有効期間等】

【使用環境】

周囲温度：5～40℃

最大相対湿度：31℃までの温度で 80%、40℃までの温度で 50%

最高高度：2000m

【耐用期間】

製造後：7 年

耐用期間は自己認証による。

【保守・点検に係る事項】

詳細は取扱説明書を参照すること

(使用者による保守点検事項)

点検

- ・ドアロックの確認
- ・洗浄アームの回転確認
- ・ドアシール確認
- ・キャリアーのロードやランナーの汚れ、状態確認
- ・チャンパー内のフィルターの確認及びクリーニング

メンテナンス

- ・酢またはクエン酸0.5リットルをチャンパーに注ぎ、チャンパーの洗浄サイクルを実施する。
- ・乾燥機のHEPAフィルターを交換する。700～750回使用する毎に交換することが望ましい。

(業者による保守点検事項)

年一回受けることを推奨

点検

- ・電源、給水、排水の確認

- ・ライン フィルターの給水確認、クリーニング
- ・洗浄器全般の状態確認
- ・乾燥機フィルターの交換、カウンタのリセット
- ・メインチャンパーのシールを検査
- ・下部ドアのシールを検査
- ・漏れがないか液コンテナの接続確認
- ・水軟化剤レベルの確認
- ・水硬度の確認、及び設定の調整
- ・排水だめフィルターの検査
- ・洗浄アームの動作確認
- ・エラー履歴確認
- ・ソフトウェア アップグレード

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

AJMD株式会社

電話番号：03-5614-0733

外国製造業者

SciCan Ltd.

サイキャン (カナダ)

取扱説明書を必ずご参照ください